

### 第3回 蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議 グループワーク「公共施設のあり方を考える」

#### 1. グループワークの目的

前回の市民会議では、施設評価を行う指標を設定することを通じて公共施設の役割とはどのような事が考えられるか、公共施設に求められるものは何かを議論していただきました。

今回の市民会議では、前回の議論を踏まえた上で、より具体的に「施設の老朽化、それに伴う維持費、更新費の負担、人口構成の変化によるニーズの変化等にどう対応していくか」「どのように施設の優先順位をつけていくべきなのか」といった課題について議論していただきたいと思います。

#### 2. グループワークのスケジュール

13：20～13：25 進め方についての説明

13：25～13：30 STEP1：前回のグループワークの振り返り

13：30～14：00 STEP2：第1象限の施設について

14：00～14：30 STEP3：第2象限・第3象限の施設について

14：30～14：40 休憩

14：40～15：10 STEP4：第4象限の施設について

15：10～15：45 STEP5：議論を通じた意見

15：45～15：55 ファシリテーターからの講評

### 3. グループワークの進め方

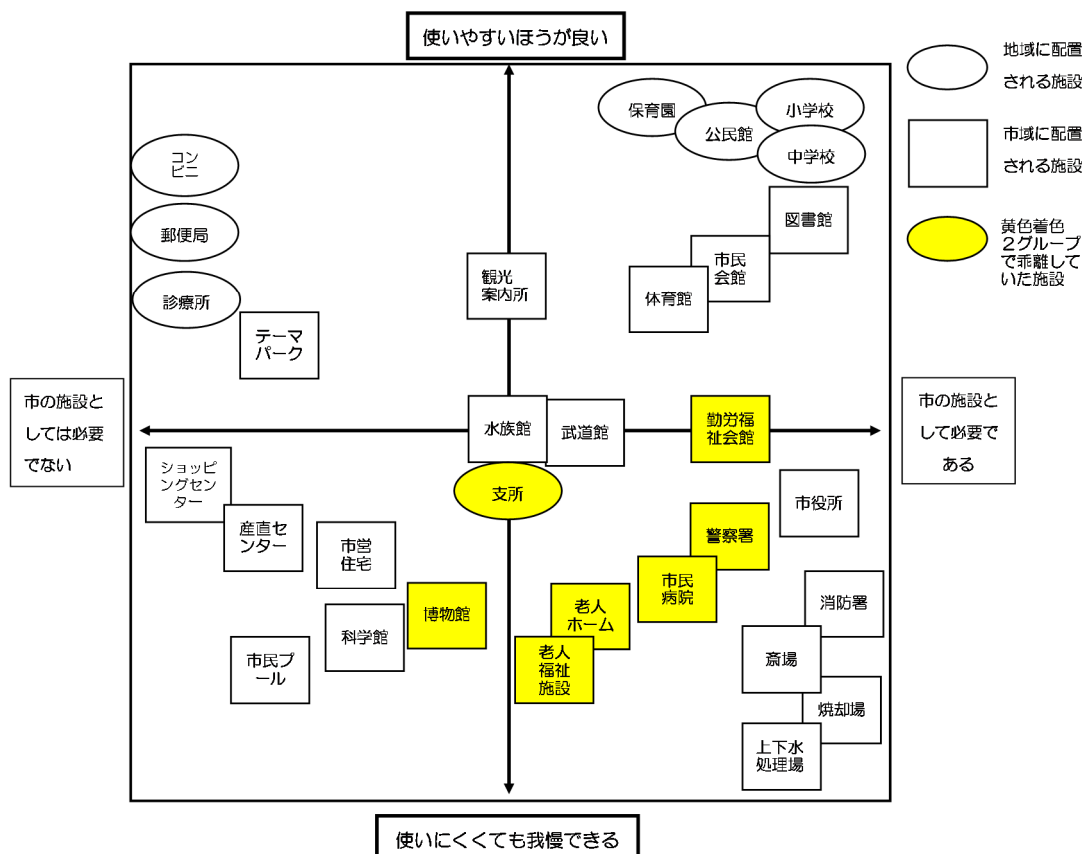
STEP1: 前回のグループワークの振り返り (13:25~13:30)

前回の市民会議では「公共施設の役割を考えてみよう」というテーマで、皆さんに「公共施設は住民にとってどうあるべきか」を議論いただき、評価指標を記入した分析図上に施設を配置いただきました。まずは、その結果を振り返りたいと思います。

#### ●グループワークにおける主な意見 ※詳細は別紙議事録参照

- 必要な公共施設は利便性を高め、住民同士の交流にも繋がられると良い。
- 財政・人口の状況に応じた、「身の丈にあった」公共施設であるべきではないか。
- 小中学校の図書館・体育館・プールの一般開放といった工夫もできるのではないか。
- 近隣自治体の施設（ホール・プール等）を利用することもできるのではないか。
- 観光施設、市民病院、市営住宅などは市がやるべきか。民営でも良いのではないか。
- 市でしかできないものもある。それらは建物を統合できるものもあるのではないか。

#### ●分析図への配置結果（2グループ統合版）

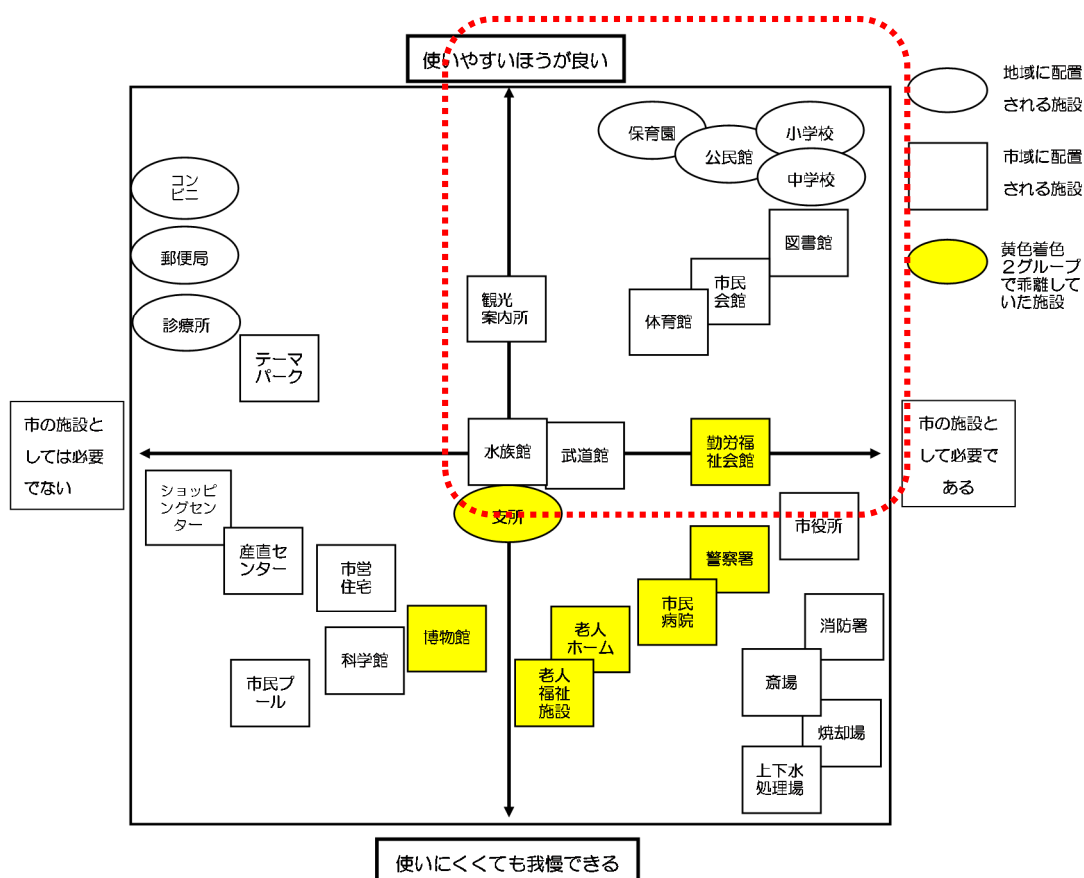


※縦軸については各グループでは「利便性が高い/低い」「近い/遠い」という設定でしたが、どちらも「使いやすいかどうか」という観点で議論されていたため、統合に際して「使いやすいほうが良い」「使いにくくても我慢できる」という表現にしました。

STEP2以降では、象限ごとに、今後の施設のあり方等について議論いただきます。  
象限ごとに議論の結果を各グループから発表いただきます。

**STEP2**：第1象限の施設について（13：30～14：00 議論20分 発表・講評10分）  
第1象限は、「市の施設として必要」かつ「使いやすい方がいい」とされた施設です。具体的には小学校や中学校、公民館、体育館、図書館などが配置されました。

- ① これらの施設については、地域単位で利用するもの（地域に配置される施設）もあれば、市に1つあれば良いような広域的に利用するもの（市域に配置される施設）もあります。地域に配置される施設、市域に配置される施設、それぞれについて、どうすれば効率的で便利にすることができるか（家に近い方と便利／駅に近いと便利／〇〇と△△が一か所にまとまっていて、そこに行けば何でもできると便利等）を議論してください。  
蒲郡市の現状を踏まえた具体的な提案（駅南に市民会館・博物館等とあわせて〇〇施設もあると使いやすい等）を検討いただいても結構です。

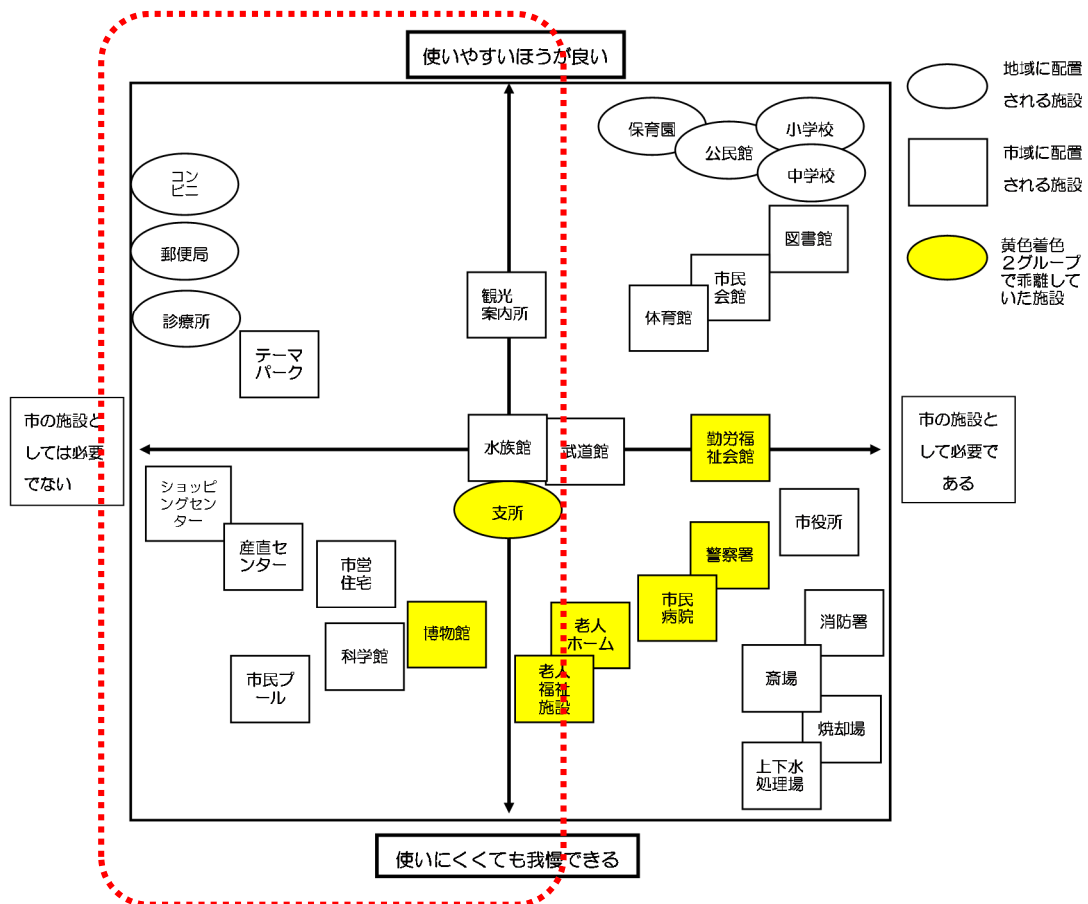


**STEP3**：第2象限・第3象限の施設について

(14:00~14:30 議論 20分 発表・講評 10分)

第2象限・第3象限は「市の施設としては必要でない」とされた施設です。具体的には、第2象限にはコンビニ、郵便局、診療所、テーマパークなどが配置され、第3象限には市民プール、ショッピングセンター、市営住宅、科学館、博物館などが配置されました。縦軸上に配置された観光案内所や水族館についても、第2象限や第3象限に含んでも良いのではないかと議論されました。

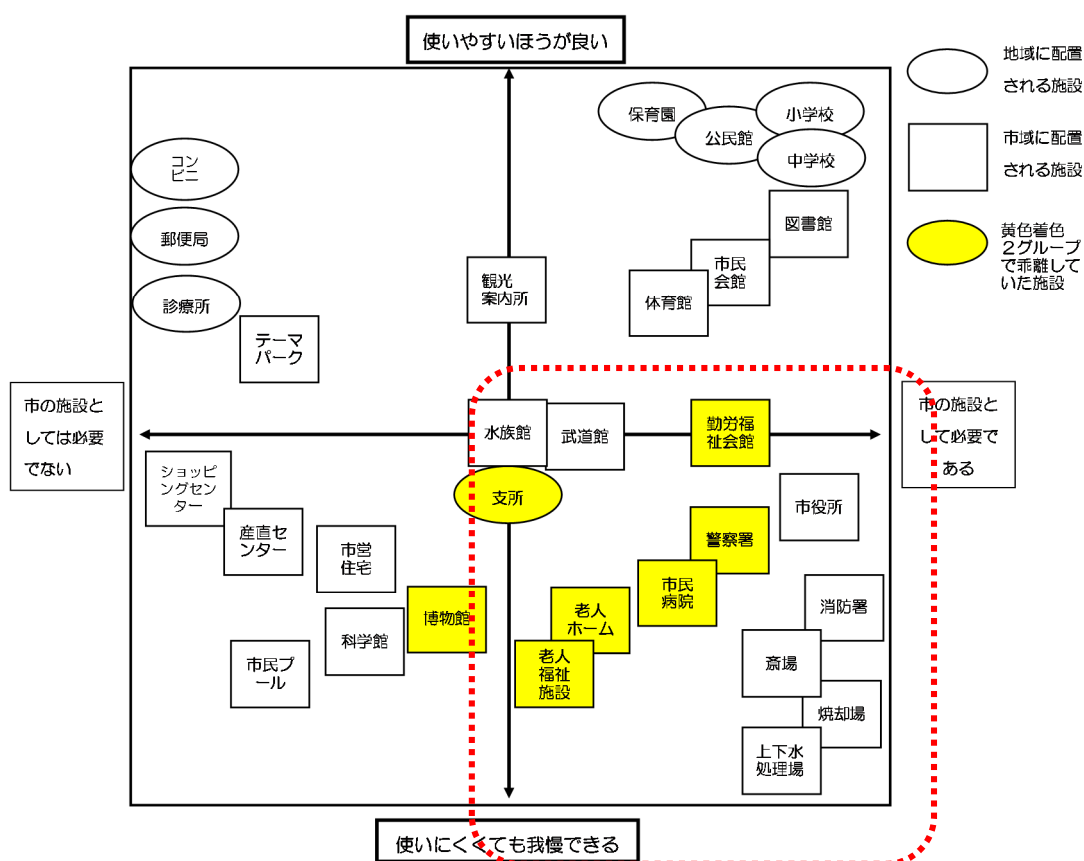
- ① これらの施設については、前回会議においては「市の施設として重要なものなのか」「民間でも運営できるのではないかと」といった意見が出されました。改めて、現在他の象限に配置されている施設についても再考いただき、「市の施設として必要でない施設」(市が運営するよりも民間が運営する方が良いと思われる施設、そもそも不要な施設)を抽出してください。
- ② ①で抽出した施設の中から、現在市が運営している施設をいくつか(最低2つ)取り上げ、その施設について、今後のあり方を議論してください。(例：市は〇〇を行い民間は△△を行う形で運営の役割分担を行う、建物は所有せずソフト事業でサービスを提供する等)



**STEP4**：第4象限の施設について（14：40～15：10 議論 20分 発表・講評 10分）

第4象限は、「市の施設として必要」かつ「使いにくくても我慢できる」とされた施設です。具体的には市役所、消防署、斎場、焼却場、上下水処理場などが配置されました。

- ① これらの施設については、前回会議においては「遠くても良いが、生活をする上で重要」といった意見が出されました。市の施設として必要なものとして運営するには、市の財政問題等を踏まえると、いかに効率的に維持するかが重要になると考えられます。運営を効率化する具体的な方法について議論してください。



**STEP5**：議論を通じた意見（15：10～15：45 検討 15分 各委員発表約1分）

これまでの第1象限～第4象限までの議論を踏まえて、重要だと思った点・理解が深まった点・今後検討すべきと考えられる点などについて、STEP5用の記録シートにご記入いただくとともに、各委員からご意見を発表いただきたいと思います。

## グループワーク記録      グループ名 (            )

第1象限	①どうすれば効率的・便利にすることができるか	地域に配置される施設		
		市域に配置される施設		
第2象限・第3象限	①「市の施設として必要でない施設」の検討 ※右の欄に、施設名を記載してください。			
第2象限・第3象限	②具体的な施設の今後のあり方	(施設名)	(今後のあり方)	
		(施設名)	(今後のあり方)	
		(施設名)	(今後のあり方)	
第4象限	運営を効率化する具体的な方法			

# STEP5 記録シート 御名前（ ）

第1象限～第4象限までの議論を踏まえて、重要だと思った点・理解が深まった点・今後検討すべきと考えられる点などについて、ご自由にご記入ください。